

福井県感染症発生動向調査速報

<<令和4年>>

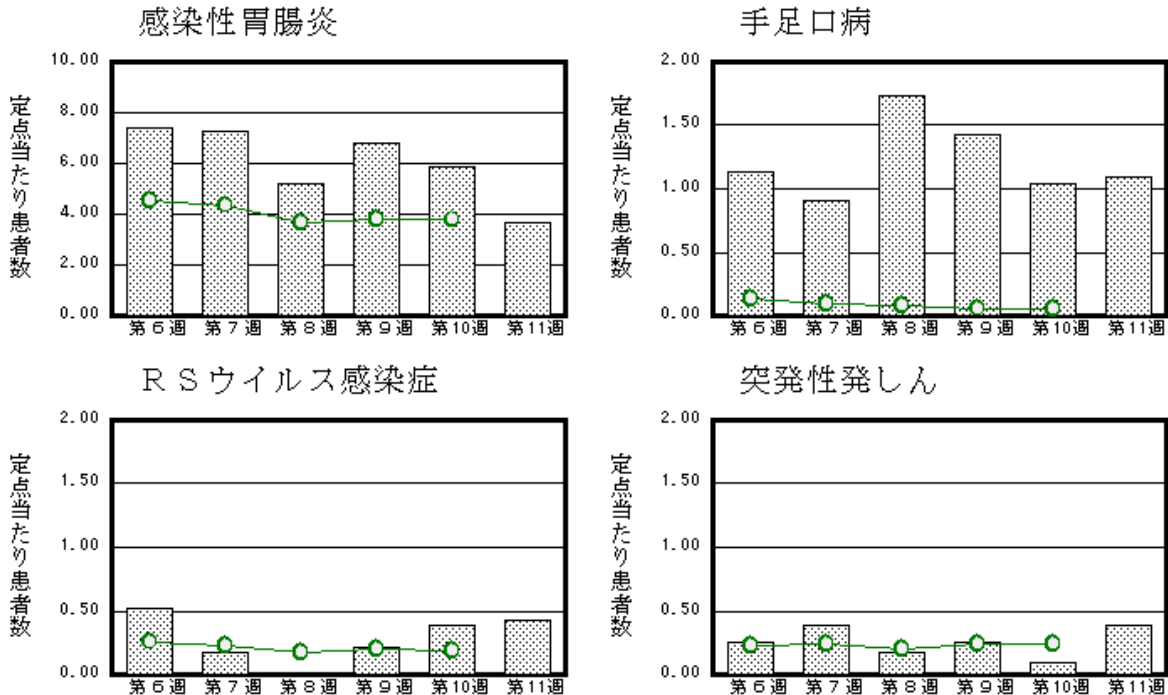
<週報> 第11週 (令和4年3月14日～3月20日)

発行日: 令和4年3月24日

発行: 福井県健康福祉部保健予防課
福井県衛生環境研究センター
kansen@erc.pref.fukui.jp

◆注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】①感染性胃腸炎84名(3.65名) ②手足口病25名(10.9名) ③RSウイルス感染症10名(0.43名) ④突発性発しん9名(0.39名) ⑤咽頭結膜熱6名(0.26名)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎6名(0.26名) ()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】①感染性胃腸炎(84名) ②手足口病(25名) ③RSウイルス感染症(10名) ④突発性発しん(9名) ⑤咽頭結膜熱(6名)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(6名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は84名です。定点当たり報告数は減少しました(5.87名→3.65名)。地域別にみると、二州地区5.67名、福井市地区4.43名、坂井地区4.00名、丹南地区3.60名、若狭地区2.50名、福井地区1.00名の順となっています。
- 【手足口病】報告数は25名です。定点当たり報告数は増加しました(1.04名→1.09名)。地域別にみると、坂井地区2.67名、若狭地区2.50名、丹南地区1.60名、奥越地区0.50名、二州地区0.33名、福井市地区0.29名の順となっています。
- 【RSウイルス感染症】報告数は10名です。定点当たり報告数は増加しました(0.39名→0.43名)。地域別にみると、坂井地区1.00名、丹南地区0.60名、福井市地区0.57名の順となっています。
- 【突発性発しん】報告数は9名です。定点当たり報告数は増加しました(0.09名→0.39名)。地域別にみると、若狭地区1.50名、奥越地区1.00名、丹南地区0.60名、福井市地区0.14名の順となっています。



※ 棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
◎ 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

◆感染症週報全国版の要点

2022年第9週(2月28日～3月6日)

発生動向総覧	<第9週>感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した
注目すべき感染症	<今週は該当記事はありません>
感染症関連情報	国内におけるSARS-CoV-2のゲノム解析/国立感染症研究所および地方衛生研究所等における全ゲノム解析により確認されたVOCs, VOIs, VUMs/病原体情報/海外感染症情報/その他
速報	<今週は該当記事はありません>

※ 詳細は国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページをご覧ください。http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

◆全数届出の感染症(福井県)

一類感染症：報告はありませんでした。
 二類感染症：結核（福井市1名、坂井1名）の報告がありました。
 三類感染症：報告はありませんでした。
 四類感染症：レジオネラ症（福井市1名）の報告がありました。
 五類感染症全数把握対象：劇症型溶血性レンサ球菌感染症（福井市1名）の報告がありました。
 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症（福井市523名、福井15名、坂井121名、奥越49名、丹南303名、二州148名、若狭80名、県外在住18名、非公表722名）の報告がありました。

類型	病名	年齢								
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	非公表	
二類	結核								2	
五類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								1	
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	197	193	182	198	195	120	176	718	

◆福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 令和4年 第11週 令和4年3月14日(月)～令和4年3月20日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井市	福井	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計	前週	全国(10週)
インフルエンザ (37)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)										18 0.00
小児科 (23)	RSウイルス感染症	4 0.57		3 1.00		3 0.60			10 0.43	9 0.39	596 0.19
	咽頭結膜熱	1 0.14		4 1.33			1 0.33		6 0.26	3 0.13	306 0.10
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1 0.33	1 0.50	1 0.20	2 0.67	1 0.50	6 0.26	4 0.17	819 0.26
	感染性胃腸炎	31 4.43	1 1.00	12 4.00		18 3.60	17 5.67	5 2.50	84 3.65	135 5.87	11825 3.77
	水痘	1 0.14					1 0.33		2 0.09	3 0.13	178 0.06
	手足口病	2 0.29		8 2.67	1 0.50	8 1.60	1 0.33	5 2.50	25 1.09	24 1.04	172 0.05
	伝染性紅斑										31 0.01
	突発性発しん	1 0.14			2 1.00	3 0.60		3 1.50	9 0.39	2 0.09	755 0.24
	ヘルパンギーナ	4 0.57					1 0.20		5 0.22	15 0.65	55 0.02
	流行性耳下腺炎									2 0.09	87 0.03
眼科 (3)	急性出血性結膜炎		*	*	*		*	*			2 0.00
	流行性角結膜炎										94 0.14
基幹 (6)	細菌性髄膜炎										6 0.01
	無菌性髄膜炎										9 0.02
	マイコプラズマ肺炎		*	*							7 0.01
	クラミア肺炎(オウム病は除く)										1 0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)										3 0.01
	インフルエンザ(入院患者数)										1 0.00

インフルエンザは、小児科定点+内科定点
 細字は定点当たり患者数

*欄には定点はありません

◆福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

令和4年第11週 令和4年3月14日(月)～令和4年3月20日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	眼科・基幹 定点	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ(入院患者数)	
～5ヶ月		～5ヶ月				1							～5ヶ月									
～11ヶ月		～11ヶ月	2	1		4		2		3	1		～11ヶ月									
1歳		1歳	3	2		12	1	5		6			1歳									
2歳		2歳	4	2	1	17		9			3		2歳									
3歳		3歳	1	1		6		8					3歳									
4歳		4歳			1	10		1					4歳									
5歳		5歳				8					1		5歳									
6歳		6歳			1	8							6歳									
7歳		7歳				2							7歳									
8歳		8歳				3	1						8歳									
9歳		9歳			1	3							9歳									
10～14歳		10～14歳			2	7							10～14歳									
15～19歳		15～19歳											15～19歳									
20～29歳		20歳以上				3							20～29歳									
30～39歳													30～39歳									
40～49歳													40～49歳									
50～59歳													50～59歳									
60～69歳													60～69歳									
70～79歳													70歳以上									
80歳以上																						
合計		合計	10	6	6	84	2	25		9	5		合計									
前期計		前期計	9	3	4	135	3	24		2	15	2	前期計									
当期間/前期	***	当期間/前期	1.11	2	1.5	0.62	0.67	1.04	***	4.5	0.33		当期間/前期	***	***	***	***	***	***	***	***	***
増減数		増減数	1	3	2	-51	-1	1		7	-10	-2	増減数									

***は前期計が"0"のとき